

## 関東地方会平成 29 年度事業報告

- I. 第 90 回日本産業衛生学会（共催：東京都医師会、後援：厚生労働省、埼玉県医師会、茨城県医師会、港区医師会、横浜市医師会、川崎市医師会、日本睡眠学会、日本笑い学会、中央労働災害防止協会）  
学会長：柳澤裕之（慈恵医大・医）、統括委員長：須賀万智（慈恵医大・医）  
開催期日：2017 年 5 月 10 日（水）～13 日（土）  
場所：東京ビッグサイト TFT ビル  
参加人数：のべ 5000 名超
- II. 平成 29 年度総会・第 277 回例会（第 90 回日本産業衛生学会シンポジウム 5 交代制勤務者の健康支援（関東地方会 4 部会・産業栄養研究会合同）として開催）・第 1 回幹事会（拡大）  
開催期日：2017 年 5 月 12 日（金） 場所：東京ビッグサイト TFT ビル東館 9 階（研修室 906）  
当番幹事：与五沢真吾（慈恵医大・医） 参加人数：372 名  
（第 1 回幹事会（拡大）は 5 月 10 日（水）、TFT ビル東館 9 階 研修室 908 にて開催）  
【講演】（座長：諏訪園 靖（千葉大院・医）、照屋浩司（杏林大・保健））  
「交替制勤務者の健康管理の実際～睡眠衛生教育からがん検診まで」 加藤憲忠（富士電機（株）健康管理センター）  
「交替制勤務者の健診事後措置における産業看護職の役割」 成田恵子（（株）日立製作所日立健康管理センタ）  
「交替制勤務者の労務管理と労働衛生管理に対応する『衛生管理者・人事部門・職場管理職』の立場から」 對木博一（（同）アール）  
「夜間勤務を含むシフト勤務者と日中勤務者での口腔内の状態及び口腔保健行動の比較」 石塚洋一（東京歯大・衛生学）  
「交替性勤務者の勤務体制を考慮した食生活支援と生活習慣病予防」 福村智恵（大阪市大院・生活科学）
- III. 第 278 回例会（一泊）及び第 61 回見学会・第 2 回幹事会  
（共催：群馬県医師会、群馬産業保健総合支援センター、後援：群馬県、群馬労働局）  
企画運営委員長：小山 洋（群馬大院・医・公衆衛生学分野）  
開催期日：2017 年 9 月 15 日（金）・16 日（土）  
場所：ホテルメトロポリタン高崎（第 2 回幹事会は 9 月 16 日（土）、JR 東日本高崎支社人材育成センター会議室にて開催）  
参加人数：見学会 68 名、例会 131 名  
メインテーマ：「地域・職域連携で進める産業衛生」  
<9 月 15 日（金）（1 日目）>  
【見学会】  
場所：① JR 東日本高崎支社 高崎車両センター高崎支所/ 群馬県高崎市 ②（株）ミツバ 富岡工場/ 群馬県富岡市 ③ ルネサスエレクトロニクス（株）高崎事業所/ 群馬県高崎市 ④（株）ボルテックスセイゲン/ 群馬県安中市  
【例会・基調講演】（座長：小山 洋（群馬大院・医））  
「産業保健近未来図パートⅡ」 柳澤裕之（慈恵医大・医）  
【例会・特別講演】（座長：清宮和之（群馬県医師会理事））

「産業衛生の新たな取り組み：治療と仕事の両立支援」真下延男（群馬産業保健総合支援センター）

<9月16日（土）（2日目）>

【例会・教育講演】（座長：竹内一夫（群馬大健康支援総合センター））

「両立支援：労働衛生行政の新たな取り組み」佐藤 寿（群馬労働局健康安全課）

【例会・シンポジウム】（座長：小山 洋（群馬大院））

「地域・職域連携で進める産業衛生」

- 1) 太田圭子（群馬専属産業医会 IHI エアロスペース社 産業医）
- 2) 武智浩之（群馬県館林保健福祉事務所(兼)桐生保健福祉事務所 保健所長）
- 3) 福平さやか（群馬産業看護研究会 会長）
- 4) 大島昭一（群馬衛生管理者協議会 副会長）

#### IV. 第279回例会・第3回幹事会

当番幹事：稲垣弘文（日本医大）

開催期日：2017年11月18日（土）、場所：日本医科大学医学部講堂（教育棟2階）

参加人数：161名

【シンポジウム】（座長：川田智之、大塚俊昭、稲垣弘文（日本医大））

「職場の感染症対策～事例を知り、策を考える～」

「麻疹について」安井良則（大阪府済生会中津病院）

「結核について」前田秀雄（渋谷区保健所）

「新型インフルエンザについて」砂川富正（国立感染症研究所）

「従業員の感受性対策～雇入時における予防接種の状況」清水少一（三菱電機）

「日本の結核健診におけるIFN $\gamma$ 遊離試験の費用効果分析」小和田暁子（大田区役所）

「マスクを用いた感染症の予防」飯田裕貴子（東工大・院）

#### V. 第280回例会・第4回幹事会

当番幹事：田中 茂（十文字学園女子大）

開催期日：2018年2月10日（土）

場所：十文字学園女子大学 9417 教室（例会）、7号館6階 教授会室（幹事会）、参加人数：118名

【プログラム】「化学物質のけい皮吸収ばく露を考える」

1. 「オルトトルイジン曝露による膀胱がん発症について」中野真規子（慶應大・医・衛生学公衆衛生学）
2. 「経皮のばく露評価の重要性」片桐律子（化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所）
3. 「化学防護手袋の必要性和有害性情報」石井聡子（化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所）
4. 「取扱い物質と化学防護手袋の材質の関係」北村公義（化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所）
5. 「製造現場における化学物質のけい皮吸収曝露への対応」上村達也（化成品工業協会）
6. 「産業保健における化学物質管理の今後について」武林 亨（慶應大・医・衛生学公衆衛生学）

## VI. 衛生管理者の集う会

### 第1回交流会

開催期日：2018年2月17日(土)

場所：昭和大学旗の台キャンパス1号館5階カンファレンスルーム 参加人数：20人

## VII. 多職種連携の会

第3回研究会(参加型) テーマ「多職種連携で考える喫煙問題」

日時：2017年10月28日(土)

場所：東京慈恵会医科大学2号館12階1203会議室 参加人数：25人

第4回研究会 テーマ「多職種連携で考える喫煙対策 part2」

日時：2018年1月20日(土)

場所：秋葉原UDX6階カンファレンスルーム(D) 参加人数：20人

演題①「大規模製造業における敷地内全面禁煙に向けた継続的な喫煙対策」

幸地 勇(古河電気工業株)

演題②「行動分析学をもとにした喫煙対策の検討—多職種連携の強みを活かして—」

小林由佳(東大・院・精神保健)

## VIII. 関東産業医部会研修会

- ・日本産業衛生学会関東産業医部会研修会(共催、蒲田医師会主催)

開催期日：2017年9月30日(土)、場所：蒲田医師会館4階講堂

### 1 「ストレスチェック総論」

福本正勝((福)長岡福祉協会首都圏事業部、老人保健施設新橋ばらの園)

### 2 「高ストレス者・長時間労働者の面接指導」

加藤憲忠(富士電機(株)大崎地区健康管理センター)

### 3 「職場環境改善に向けた集団分析結果の活用方法について」

西埜植規秀(にしのうえ産業医事務所)

- ・日本産業衛生学会関東産業医部会(主催)

(共催)東京都医師会、慈恵医師会、日本産業衛生学会産業看護部会

開催期日：2018年1月13日(土)、場所：東京慈恵会医科大学 一号館5階講堂

テーマ 就労と疾患

### 1 「一般定期健康診断項目の見直しについて」

宮本俊明(新日鐵住金(株)君津製鐵所安全環境防災部安全健康室)

### 2 「糖尿病治療アップデート～就労支援をふまえて」

川浪大治(慈恵医大・医・糖代謝内科)

### 3 「炎症性腸疾患と就労」鳥居 明(鳥居内科クリニック)

### 4 「性同一性障害を正しく理解する」松永千秋(ちあきクリニック)

### 5 「女性の就労とライフステージによるホルモンの関わり」

宗田 聡(広尾レディース、慈恵医大・医・産婦人科)

IX. 関東産業看護部会研修会

- ・平成 29 年度関東産業看護部会研修会

開催日：2018 年 1 月 20 日（土）、場所：東京工科大学蒲田キャンパス

テーマ：「ワンランク UP！個人と組織への効果的なアプローチ方法を身につける」

- ・オリエンテーション
- ・ケースメソッド法を用いた産業看護職の相談対応事例の検討
- ・ミニ講義「発信力を高めて産業看護活動をアピールしよう」  
掛本知里（東京有明医療大・看）
- ・産業看護活動の発信 実践報告

X. 関東産業衛生技術部会研修会

- ・第 42 回関東産業衛生技術部会研修会 「第 8 回衛生管理者交流研究会」（共催埼玉産業保健総合支援センター）

開催日：2017 年 12 月 19 日（火）、場所：埼玉会館 3B 会議室、参加者：18 名

「IT 企業の衛生管理：衛生管理者の立場からの活動」

佐々木幸生（北日本コンピュータサービス(株)関東支社、衛生管理者）

「IT 企業の衛生管理：産業医の立場からの活動」

武石容子（北日本コンピュータサービス(株)関東支社、産業医）

- ・第 43 回関東産業衛生技術部会研修会（第 280 回例会として開催、V. に記載）

XI. 関東産業歯科保健部会研修会

- ・平成 29 年度関東産業歯科保健部会研修会

開催日：2018 年 2 月 3 日（土）、場所：東京医科歯科大学 7 号館 4 階歯学科第 4 講義室

参加者：22 名

テーマ：「エビデンスをどのように現場で活かすか」（座長：佐々木好幸（東京医歯大））

「エビデンスをどのように現場で活かすか（基調講演）」

湯浅秀道（(独)国立病院機構 豊橋医療センター歯科口腔外科）

「Orofacial Pain の Evidence」安藤彰啓（あんどう 歯科口腔外科）

XII. 関東地方会ニュース編集委員会

関東地方会ニュース第 36 号、第 37 号を発行した。